

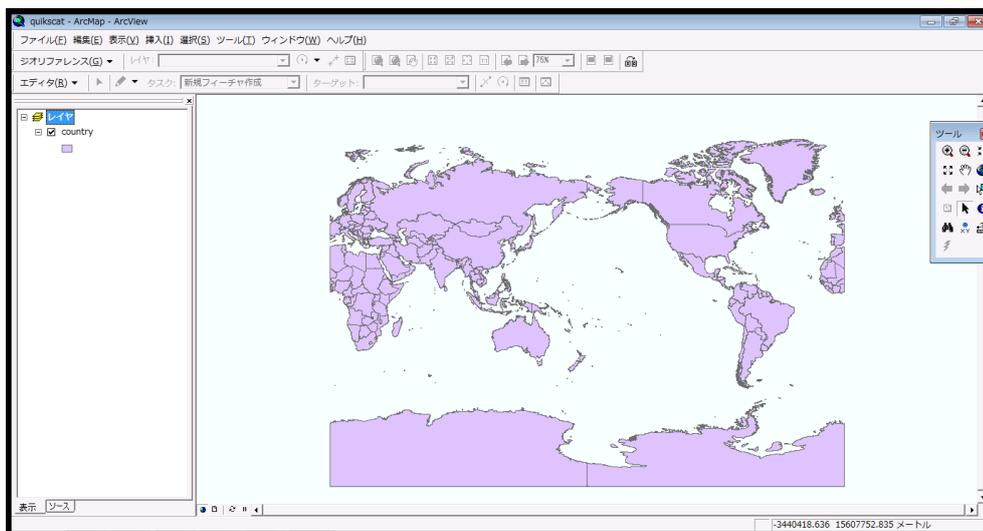
課題 海面温度分布と海面高度変異分布

1. データの準備

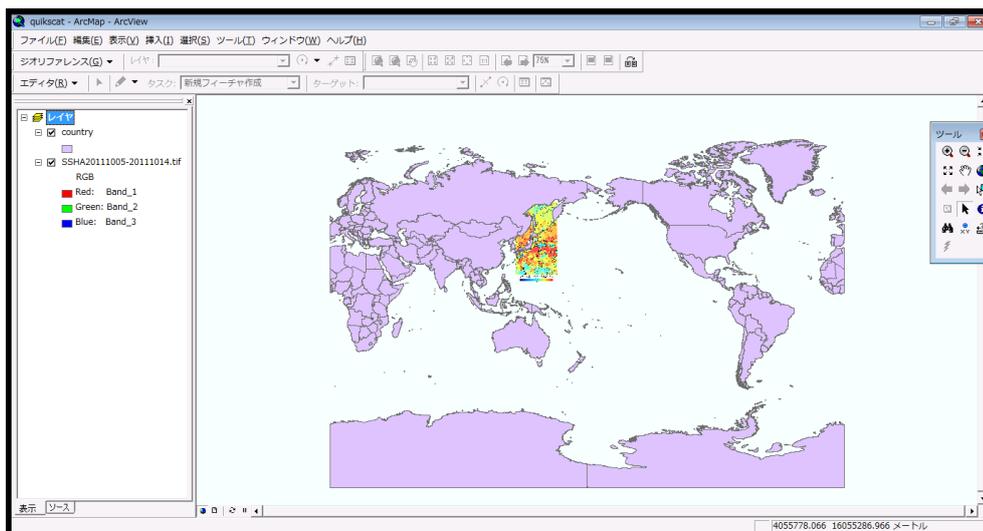
- (1) Y:¥asanuma¥SST_SSHA 海面温度分布と海面高度変異分布
 - ・ A2011281285sOct08-12.tif MODIS 観測 5 日間合成の海面温度分布
 - ・ SSHA20111005-20111014.tif Altimeter 観測 10 日間合成の海面高度変異分布
- (2) Y:¥asanuma¥WorldCoast 世界地図

2. ArcMAP の起動

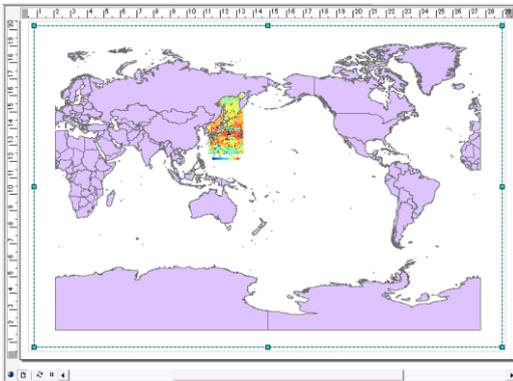
- (1) 海岸線ポリゴンの表示 : 「データの追加」 から 「¥WorldCoast¥country.shp」 を追加する。



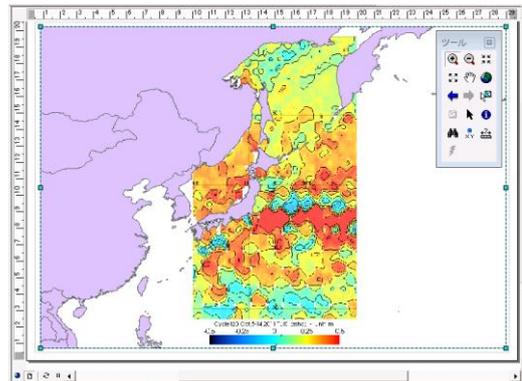
- (2) 海面高度変異分布の表示 : 「データの追加」 から 「¥SST_SSHA¥SSHA20111005-20111014.tif」 を追加する。日本周辺のデータが追加される。



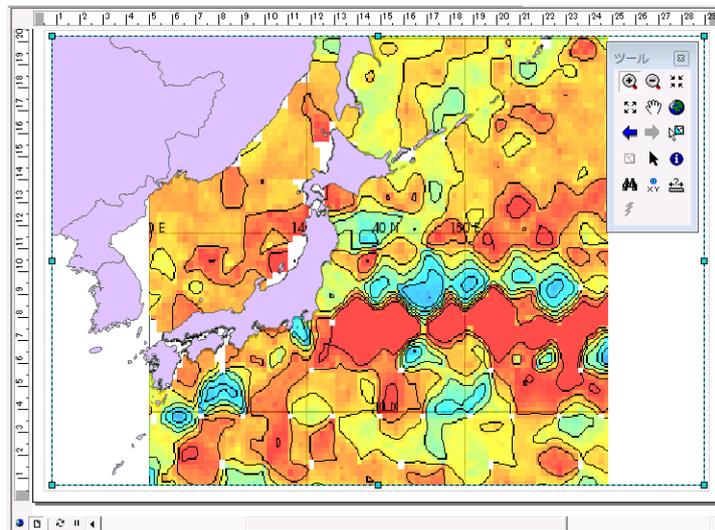
(3) レイアウトビューモードにする。



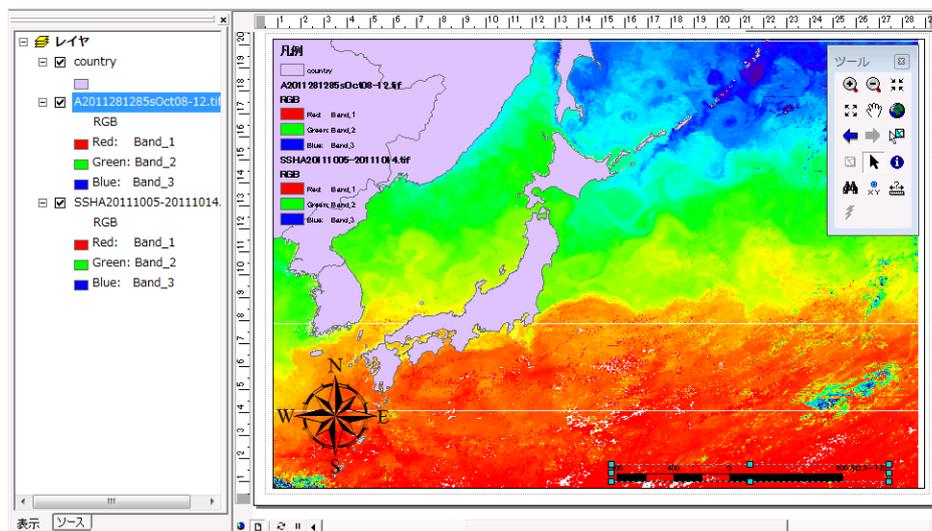
「ツール」
の拡大キー
「」で
日本周辺を
拡大する。
→



カラーバーに注目しよう。平年値よりも 0.5m 海面が高いところを赤、0.5m 海面の低いところを青に配色した。さらに拡大し、千島列島から沖縄付近までが表示されるように拡大する。



(4) 海表面温度分布の表示：「データの追加」から「¥SST_SSHA¥A2011281285sOct08-12.tif」を追加する。日本周辺のデータが追加される。



課題 海面高度変異と海表面温度分布画像

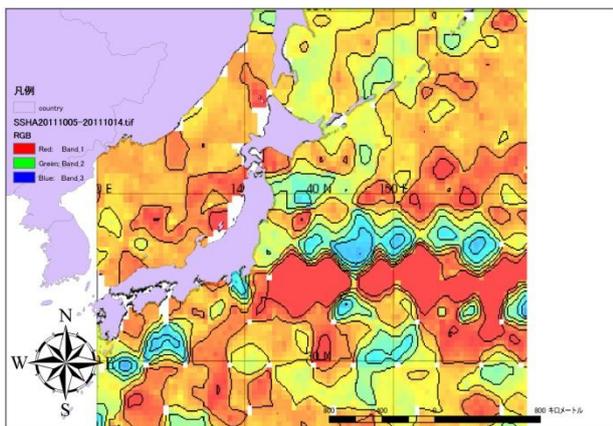


図1 海面高度変異分布図
2011年10月5日から10月14日の合成

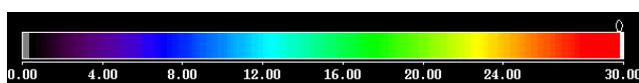
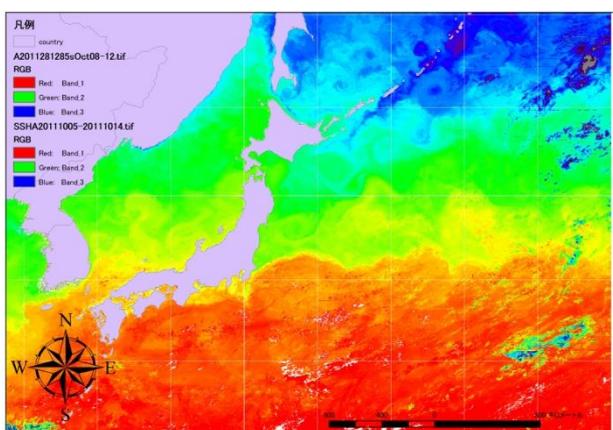


図2 海表面温度分布図
2011年10月8日から10月12日の合成

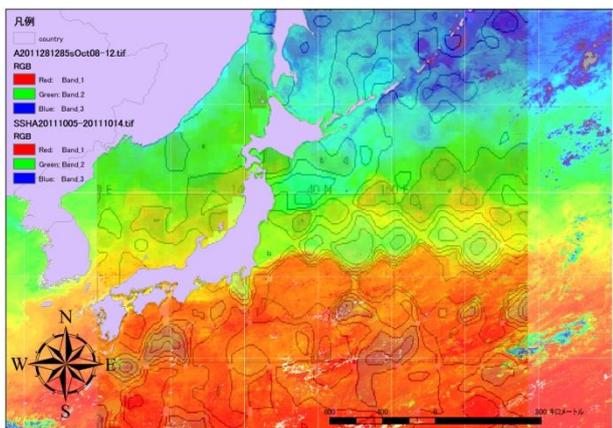


図3 海面高度変異分布と海表面温度分布図の合成画像
海面高度変異 2011年10月5日~14日合成
海表面温度 2011年10月8日~12日合成

図1と2から、銚子から東方沖合の①____流域において、赤色で示される海面の高い①____本流を判読することが可能である。その①____の北側には、②____を起源とする③____回りの冷水塊にとまなう海面の低い海域が存在する。さらに、その北側と千島列島南側には①____を起源とする④____回りの海面の高い暖水塊と、②____を起源とする③____回りの海面の低い冷水塊が存在する。

図3によると、コンター(等値線)に示される海面高度分布と、海表面温度により判読される①____系との重ね合わせにより、四国南方の③____回りの水温の低く、海面高度の低い冷水塊の存在が分かる。